

令和5年度PTA総会「学校経営計画」説明

私からは、今年度の「学校経営計画」につきましてご説明いたします。資料（24）ページに今年度の学校経営計画を掲載しておりますが、前方のスクリーンで説明したいと思います。内容は同じです。

[1枚目]

令和3年3月末に文部科学省が、各高等学校の存在意義・社会的な役割を定義するよう通知しました。これをスクール・ミッションと呼んでいます。スクール・ミッションは教育委員会が考えたものですが、要約しますと、「地域の農業生産とその関連産業を支える人材育成の推進」ということです。

[2枚目]

各高校ではスクール・ミッションをもとに、3つの方針を立てております。これをスクール・ポリシーと呼んでいます。これによりまして、生徒の卒業後の姿をイメージしながら、教育活動の基本方針を立てますが、本校のスクールポリシーを一言で表現いたしますと、「地球規模の視野で考え、地域で行動する人材の育成を実践する農業高校」という意味の「グローバル・アグリ・ハイスクール」ということになります。

[3枚目]

都城農業高校は「グローバル・アグリ・ハイスクール」として、農業や農業関連産業の学びを通して地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成する高等学校であることを期待されています。

[4枚目]

本校は学校創立100周年を機会に、校訓を「自他敬愛」「知徳耕道」「見聞知行」と決めました。「自他敬愛」は「自分や他人を大切に思いやる心を育てる」、「知徳耕道」は「農の力をもって知識、人格を耕す、磨く」、「見聞知行」は「見て、聞いて、知って、実行する」という意味です。私はこの校訓にこだわりたいと考えていますので、基本方針の1番目を「校訓に基づく人間教育の展開」といたしました。

[5枚目]

令和5年度重点目標ですが、まず、「豊かな人間性を育む教育の推進」として、ルールやマナーを守れる生徒に育てるために、基本的な生活習慣の確立や規範意識醸成のための生徒指導等を大切にしたいと思います。また、部活動の活性化やボランティア活動への積極的な参加を支援したいと思います。

2番目の「地域に貢献する意欲や郷土を愛する心を育むキャリア教育の推進」につきましては、デュアルシステムやインターンシップ、プロジェクト活動等で地域産業界と積極的に連携したいと思います。

3番・4番・5番につきましては、本校に限らず、すべての高校が当然取り組むべき内容です。特に教育のICT化につきましては、一人1台端末導入という国の方針に基づきましてパソコン購入にご協力いただいております。これからの時代を担う産業人として、関連する知識や技術を身に付けられるよう、学校としても取り組んでまいりたいと考えております。

[6枚目]

これまでの5枚のスライドをまとめますとこのようになります。

重点目標に基づく具体的な取組につきましては、学校経営計画に沿って各教科・学科、学年、各部の担当等が企画・運営していきます。その際、地域に様々な関係機関や組織等がございますので、積極的に連携していきたいと考えています。

そして、取組の成果につきましては積極的に情報発信を行いまして、地域の中学生やその保護者に本校のことを理解していただき、次の生徒募集に生かしていきたいと考えています。

本年度の具体的な教育方針や教育活動につきましては、これから各主任が説明いたします。今年1年間の本校教育活動に対するご理解とご協力をお願いいたしまして校長の説明を終わります。ありがとうございました。

令和5年4月22日

宮崎県立都城農業高等学校

校長 山下 勉